

軽量鋼板庇 (木造用)

ひさし
『庇』

このたびは、当社製品をご採用いただきましてありがとうございます。
商品の組み立てや取り付けには、この要領書をよくお読みになり、正しく美しく仕上げてください。

① 組み立て・取り付け上の注意事項

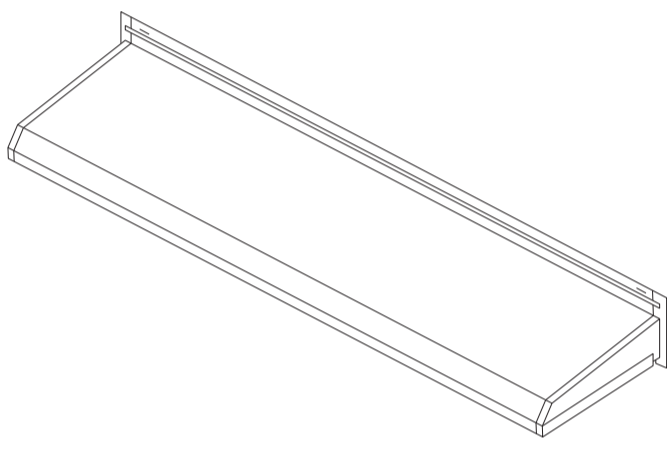
- ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたって必ずお守りください。
- ①庇以外への使用および改造は行わないでください。
- ②指定の部品およびオプション品以外は使用しないでください。
- ③取り付け用釘は2寸程度のカップスクリュー釘で完全に取り付けてください。
- ④庇にはしごをかけたり、上に乗ったりしないでください。屋根が変形したり、落下事故になることがあります。
- ⑤シーリング(コーキング)は、指定箇所全てを確実にしておこなってください。
- ⑥組み立て・取り付け完了後、正しく作業が行われたこと、および使用上の不具合がないか確認してください。

② 輸送・取り付け後のお願い事項

- ①搬入の場合は背板の部分を下面にして下さい
- ②積雪が50 cmになる前に必ず雪おろしをするようにご指導願います。

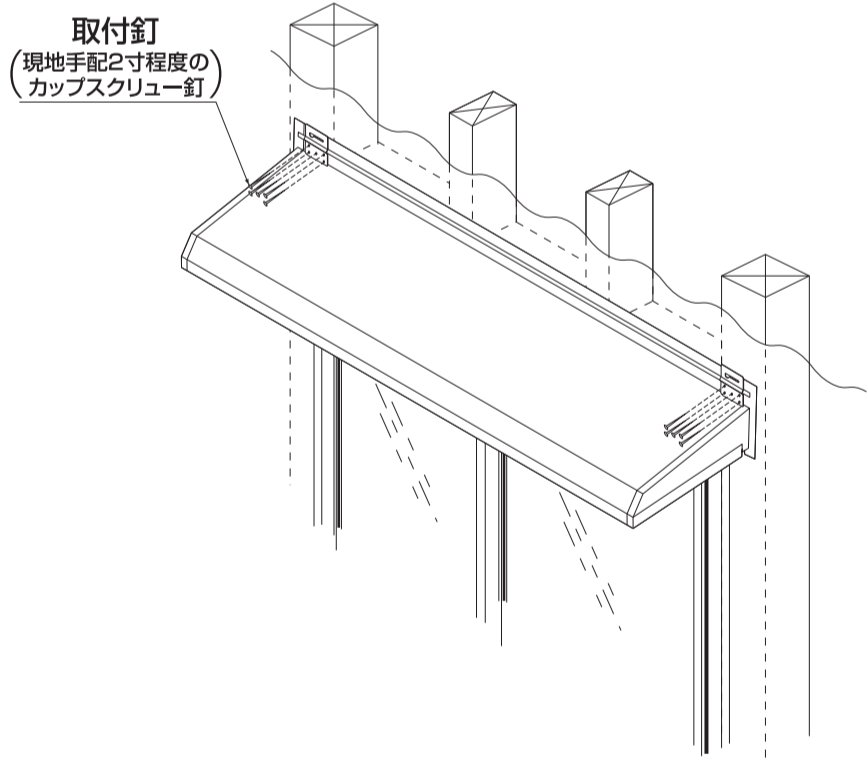
③ 梱包内容

- ・開梱時に種類と数量を確認してください。(部品袋の内容にもご注意ください。)
- ・商品に破損や異常がないか確認してください。
- ・万一商品に破損や異常がある場合、または部品が不足している場合には、販売店または当社までご連絡ください。

庇 本 体	補 強 金 具						
	●庇の背板側に貼り付けてあります。						
	関東間W	865	1010	1465	1920	2830	3740
	補強板数	3	3	4	5	7	9
関西間W (九州・四国間)	1154	1580	2020	2108	3062		
補強板数	3	4	5	5	7		

3

庇と柱の左右位置を調整した後、他の釘穴にカップスクリュー釘を打って下さい。(仮止め釘も固定してください。)

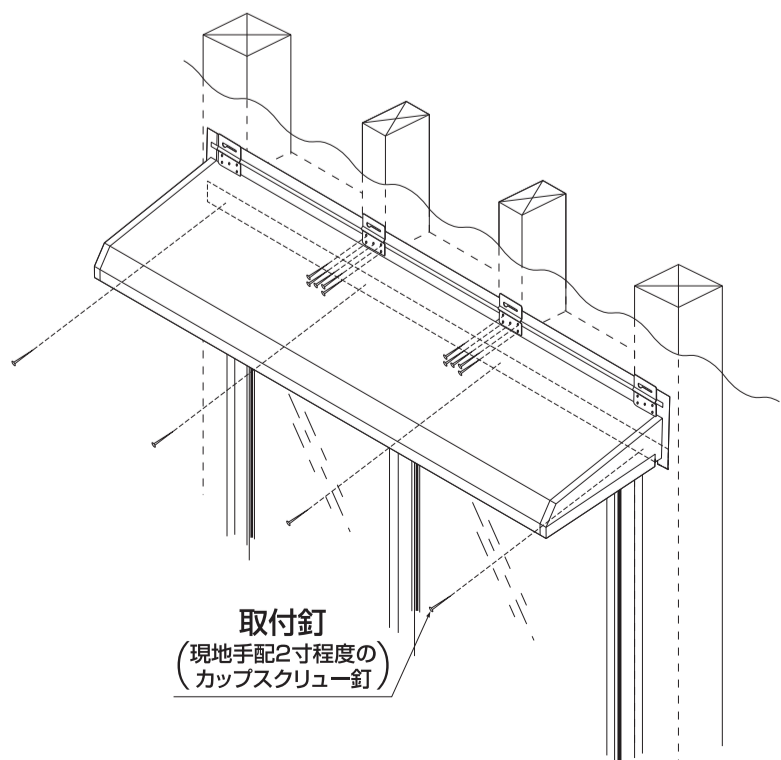


4

間柱位置に補強板を重ね長穴と中心穴にカップスクリュー釘打ちをしてください。

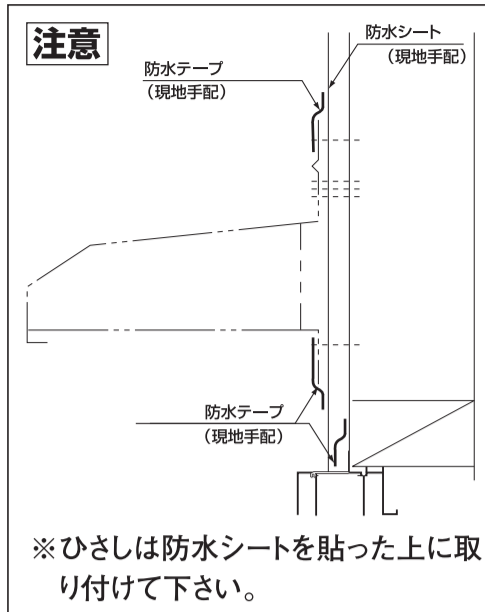
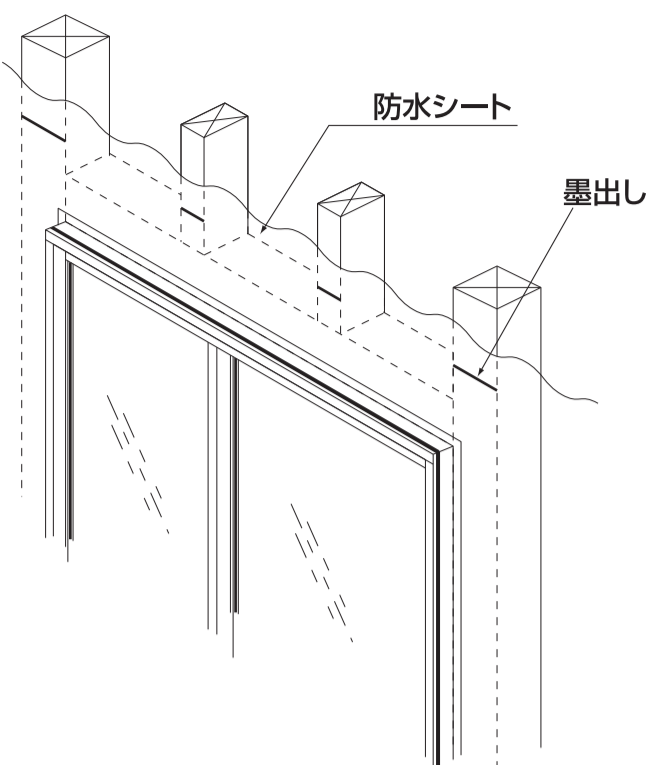
5

下がり部分を柱と間柱にカップスクリュー釘打ちをしてください。



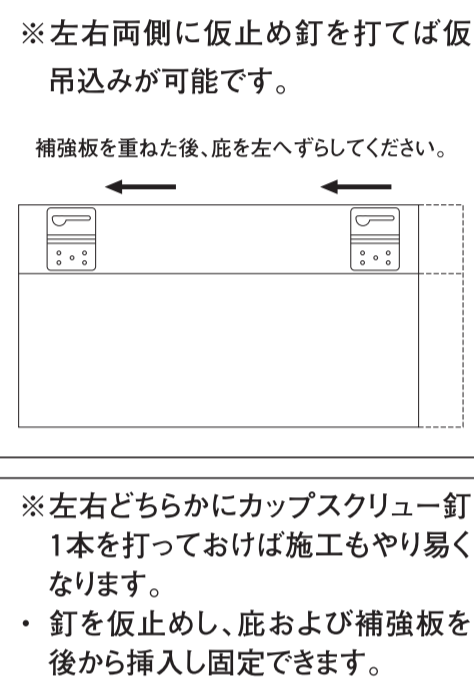
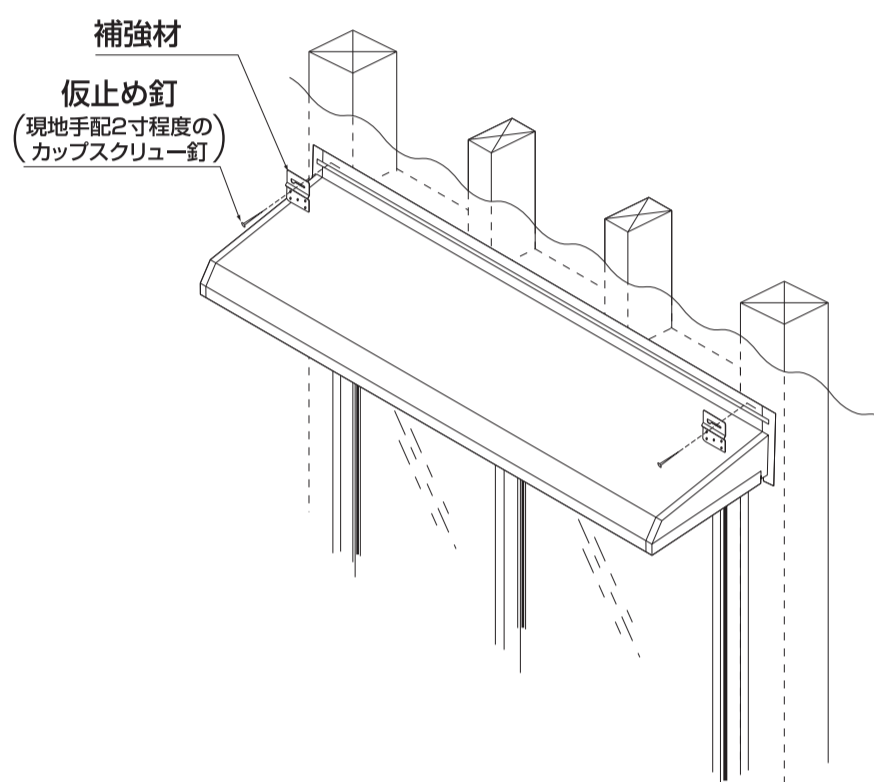
1 施工手順

取り付け位置に水平の墨出しをして下さい。



2

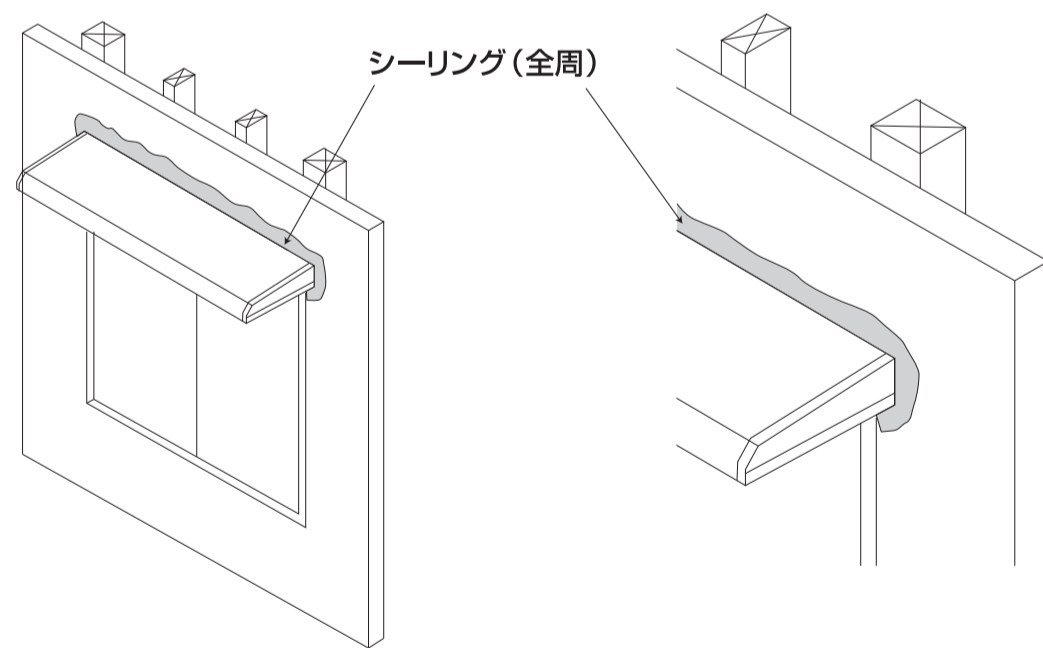
庇の立上がり部の両端にある長穴に補強板を重ね、長穴の中央で釘を仮止めします。



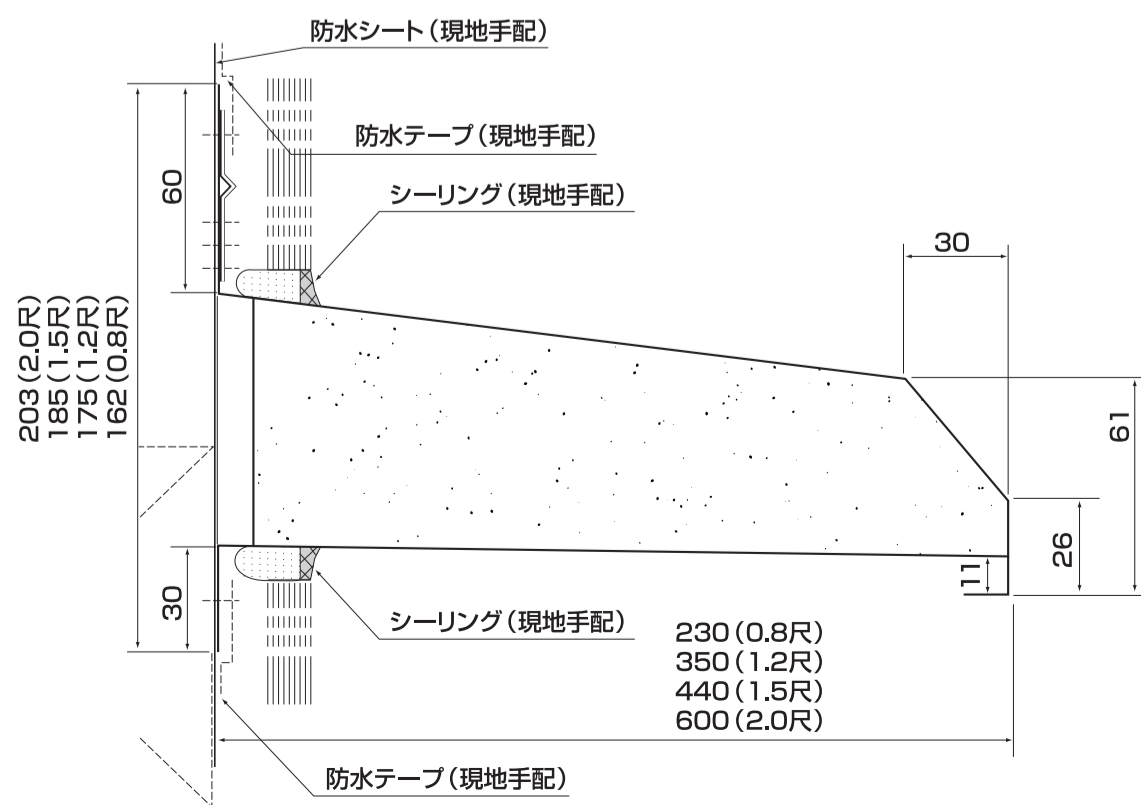
6

庇とサッシおよび外壁材が取合う部分には必ず全周シーリングをしてください。

※庇の軒下部も雨水が吹き込みやすいので確実にシーリングしてください。
施工不良は漏水の原因となり家屋を傷める恐れがあります。



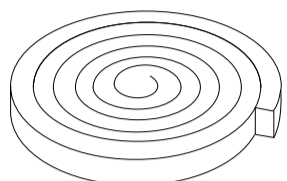
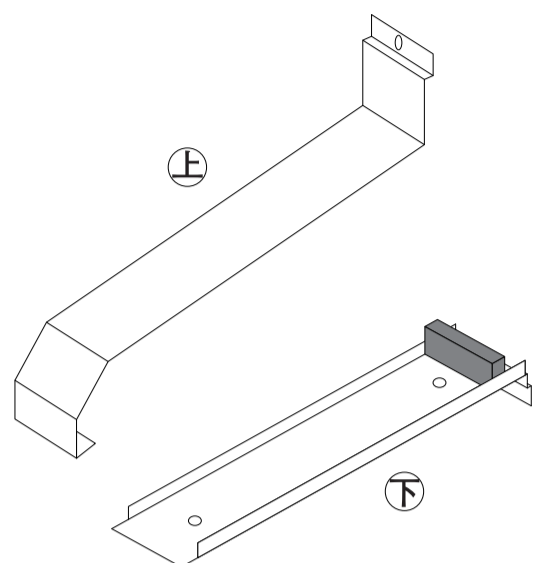
納まり図

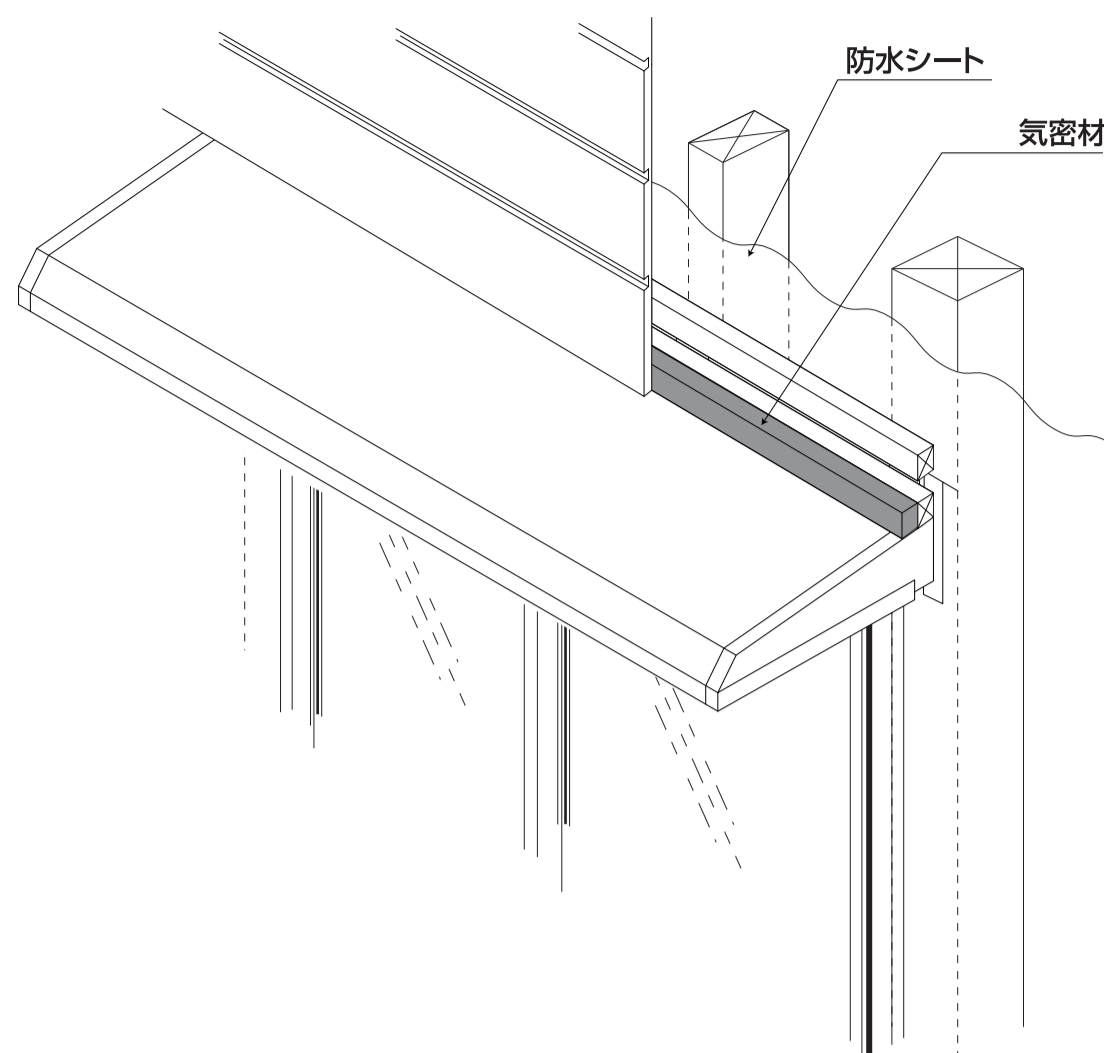


金属サイディング等を外壁材に使用する場合、現場に合わせて気密材（有償部品）を貼付けて下さい。

梱包内容

- ・開梱時に種類と数量を確認してください。（部品袋の内容にもご注意ください）
- ・商品に破損や異常がないか確認してください。
- ・万一商品に破損や異常がある場合、または部品が不足している場合には、販売店または当社までご連絡ください。

気密材	標準タイプセット
	
数量 1	数量 各1



連結部材施工要領

- ①庇の連結部分の先端及び上面を揃え水平に取付け、連結部分全てにシーリング材を十分に塗布して下さい。
- ②連結部品（下部）を連結部の軒裏面から当て、躯体側に釘打ちして下さい。
- ③連結部品（上部）を正面から差込み、連結部品（下部）の先端をはさみ躯体側に釘打ちして下さい。

※シーリングは確実に行って下さい。シーリングが不十分ですと雨漏りの原因となります。
 ※庇の連結部分にシーリングを塗布できない場合、連結部品を取り付け後、シーリングを塗布して下さい。また、正面の連結部品の重なり部分もシーリングして下さい。
 ※シーリング後、きれいに仕上げして下さい。

A 標準連結

